プレスリリース

2026 年 6 月 17 日
Institution for a Global Society 株式会社

＜白書発行予告／調査データ先行公開のお知らせ＞

360 度評価の評価者 44%に「採点の偏り」

人的資本データの信頼性に盲点、IGS が評価バイアスの実態を先行公開

―『「GROW360+」人的資本白書 2025 年度版』2026 年 6 月 23 日（火）発行予定―

Institution for a Global Society 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 COO：中里 忍、以下「IGS」）は、2026 年 6 月 23 日（火）に『「GROW360+」人的資本白書 2025 年度版』を発行します。人的資本経営に継続的に取り組む 29 社・7,418 名の 360 度評価コンピテンシーデータを分析した実証レポートです。発行に先立ち、本日、同白書の分析から明らかになった「評価者バイアス（採点の甘い・厳しい）」の実態データを先行公開するとともに、発行当日にダウンロード URL をお受け取りいただける事前登録の受付を開始します。

1. 先行公開：評価者の約 44%に「採点の偏り」

360 度評価の評価者 12,346 名を分析したところ、平均より甘い評価者が約 23%、厳しい評価者が約 21%存在しました。あわせて約 44%の評価者が、平均から目立って外れた採点傾向を持っていたことになります。

学校のテストに「採点の甘い先生・厳しい先生」がいるように、360 度評価でも誰が評価するかによって点数に偏りが生まれます。問題は、「誰が・どの関係で評価したか」の組み合わせが個人ごとに偏る点です。たまたま甘い評価者に当たった人は本来より高く、厳しい評価者に当たった人は本来より低いスコアになる可能性があります。

そのスコアは「その人の能力」を測っているのか、「誰に評価されたか」を測っているのか――補正なしの 360 度評価が抱える、見過ごせない問いです。

IGS は、この偏りを特許取得済みの評価バイアス補正技術（登録番号：6589257）によって統計的に補正したうえでスコアを算出しています。「全体の順位は保ちながら、評価環境の不公平が強く出た個人だけを本来の位置に近づける」――その補正の効果と、企業ごとに異なる「評価環境の質」の診断結果は、6 月 23 日発行の白書で定量的に公開します。

2. 背景：人事の意思決定は「感覚」から「データ」へ。だが「データの質」は問われてきたか

「この人を管理職にして大丈夫だろうか」「あの社員の強みは本当にここなのか」――人事の意思決定は、経験や勘に頼りがちです。一方で、2023 年 3 月期決算から義務化された人的資本情報開示により、企業は「どの層の、どの能力に、どれだけ投資しているか」を説明する責任を負うようになりました。しかし、その基盤となる能力データの「質」については、十分に問われてきたでしょうか。

IGS は 2010 年の設立以来、「GROW360+」を通じて累計約 360 社・被評価者 約 100 万名分のコンピテンシーデータを蓄積してきました。本白書はこのデータ蓄積を背景に、「能力データは人事の意思決定をどう変えるか」という問いに、実証的に向き合います。

3. 本白書が立てる 5 つの問い

本白書は、29 社・7,418 名のデータをもとに、人事の「当たり前」に問いを立てます。

① 管理職と一般社員で、本当に差がつく力はどこか。それは自社の選定基準と一致しているか。
② 社員の自己認識は正確か。「できていると思っている」と「周囲から見えている」はどれだけずれているか。
③ 貴社の 360 度評価は、「その人の能力」を測っているか。それとも「誰に評価されたか」を測っているか。
④ 人材の成長には、どんなパターンがあるか。「伸び悩み」はデータで事前に把握できるか。
⑤ 管理職候補のリストは、データに基づいているか。それとも「現管理職に似た人」への無意識の偏りがないか。

これらの問いに対する答えは、6 月 23 日発行の白書でお届けします。

4. 白書の特徴

- 29 社・7,418 名・2,763,387 件の評価素点データを分析対象とした実証レポート
- 一橋ビジネススクール・小野浩教授による監修
- CHRO・人事責任者、人事企画、人材開発、事業部門・経営層それぞれへの問いと示唆を収録
- 特許取得の評価バイアス補正技術（登録番号：6589257）の効果を定量的に公開

5. 事前登録のご案内

白書は 2026 年 6 月 23 日（火）の発行予定です。

本日より、発行当日にダウンロード URL をお受け取りいただけるメールマガジンの事前登録を受け付けています。

▶ 事前登録フォーム：https://www.grow-360.com/whitepaper_mail

■「GROW360+（グロー・サンロクマル・プラス）」について

IGS の「GROW360+」は、気質（生まれ持った特性）・コンピテンシー・スキルの 3 要素を自己評価と他者評価（360 度評価）で測定するプラットフォームです。2016 年のサービス開始以来、特許取得の評価バイアス補正技術（登録番号：6589257）のもと、累計約 100 万名分の評価データを蓄積。4 領域 25 コンピテンシーの体系的な測定により、人材育成・配置、人的資本開示基盤の整備を支援しています。
※「GROW360」「GROW シリーズ」を経て、2025 年 9 月より「GROW360+」として提供。

- サービスサイト：https://www.grow-360.com/grow360plus

会社概要

Institution for a Global Society（IGS）株式会社

社会で力を発揮するうえで重要な「非認知能力」を中心に、人の能力（コンピテンシー・スキル）や気質（生まれ持った特性）を可視化する評価サービスを提供する EdTech/HRTech 企業です。企業・学校・自治体向けに、行動特性や強みを捉えるツールおよびサービスを提供し、個人と組織の成長と価値創出を支援しています。企業パーパスに「分断なき持続可能な社会を実現するための手段を提供する」、そしてビジョンとして「人を幸せにする評価と教育で、幸せを作る人、をつくる。」を掲げています。2010 年 5 月の創業以来、国内外の多様な組織との協業を通じて、教育・人材領域の変革を推進し、2021 年 12 月 29 日には東

証マザーズ市場（現・グロース市場）へ上場しました。

- 所在地：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-11-2 4F
- 設立：2010 年 5 月
- 資本金：90 百万円（2026 年 3 月末現在）
- 事業内容：学校・企業向けに、非認知能力を含む人の能力・特性を可視化する評価プラットフォームの開発・提供
- 代表者：代表取締役会長 CEO 福原 正大／代表取締役社長 COO 中里 忍
- コーポレートサイト：https://www.i-globalsociety.com/

■本白書および「GROW360+」に関するお問い合わせ先（企業・団体等）

Institution for a Global Society 株式会社　HCM ソリューション部　中西

MAIL: sales@jp.grow-360.com

■ご取材に関するお問い合わせ先（メディア）

Institution for a Global Society 株式会社　ブランドコミュニケーション室　広報担当　川村

MAIL: pr@i-globalsociety.com